

宇治山田高校 同窓會報

Ujiyamada
High school
Alumni association
Journal

2011/4/1

No.

28

発行所：山高同窓会
発行人：池田六太郎
編集人：越山 初生
印刷所：文化印刷(有)

受け継がれる伝統と

新たな風――



地元テレビ局の取材



昼休みの光景



オーストラリアでの語学研修
(シドニー郊外カンドルタウン地区)

CONTENTS 目次



同窓会長ごあいさつ.....	02	平成22年度同窓会総会の様子	09
学校長ごあいさつ.....	02	特集記事.....	10
同窓会委員.....	03	同窓会協力金寄付者御芳名.....	11
事業報告及び事業計画.....	03	大学入試状況.....	14
決算及び予算.....	04	献本リスト.....	15
事務局だより.....	04	ホームページを活用いただいていますか?	15
支部だより.....	04	平成22年度同窓会総会 & 平成23年度同窓会総会のお知らせ	16
通信欄.....	06	編集後記.....	16
山高 NOW !	08		

ごあいさつ



同窓会長
池田 六太郎
(山高19期)

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般の「東日本大震災」により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。そして、一日も早く復興されますことを心から祈念いたします。

さて、母校創立百十周年を記念して、「山高プラチナゴルフ会」が発足しました。第一回ゴルフコンペを昨年八月十六日に伊勢カントリー倶楽部において、百八十名近い会員が集い、それぞれ珍プレー好プレーの中、懇親を深めました。特に暑い日でありますが、元気に山高魂を認できました。また、チャリティホールでの収益金は同窓会への協力金として、寄付していただきました。本年は、気候の良い四月三十日(土)伊勢カントリー倶楽部貸切で開催いたします。是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会報の発行が、本年は四月に変更

になりました。会報委員会で多方面から慎重に検討した結果、総会開催の二から三ヶ月前に発行するのが良くなった次第であります。どうか宜しくご理解の程お願い申し上げます。同窓会の目的は、会員相互の親睦と母校に対する支援でございます。今後もその目的のため活動が続けてまいりますので、ご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

山高は今



学校長
中谷 文弘

3月に発生した東北関東大地震と、それに伴う大津波、福島原子力発電所の事故は、生徒たちにも大きな衝撃を与えました。繰り返し報道される現地の厳しい状況に胸を痛め、強いショックを受けています。そうした中、今自分たちに何ができるか、真剣に考え、行動を起こし始めています。3月14日には、生徒会は校内募金活動をはじめました。また、毎月3月に伊勢市観光文化会館で開催している文化部発表会では、

震災の被害を受けた現地への熱い思いを込めて、吹奏楽部と合唱部が力いっぱい演奏を繰り広げました。ロビーではインターアクト部が中心となり募金活動を行い、数時間で10万円を超える募金が集まりました。震災の事実だけが記憶に残るのではなく、そのとき自分は何を考えた、どう行動したのか、後年きつと記憶に残るような、そんな生徒の言動に、山高の「自主・自律、気高き品性」が垣間見られる思いがしました。

本年度は、私自身や母校に深く関わる同窓生の計報がありました。11月には山中47期の久保田康耶さんの逝去の報に接し、驚きと悲しみにくれました。私は、以前から山高の近くの歯科医にかかっており、そこに置かれている「伊勢人」という雑誌で、久保田先生が歯科麻酔学の権威として紹介されていた記事を読んだのがとても印象に残っていました。日本で最初の歯科麻酔学の教授で、歯科麻酔学の父とも呼ばれている方であり、山高に赴任してからは、是非一度お会いしたいと思っていた方でした。平成22年5月の東京支部総会・懇親会の際、はじめて先生と言葉を交わし、是非一度、母校の生徒にお話をいただく機会を設けたいが、との申し出に微笑みながら快諾していただいたことが今更ながらなつかしく思い出されます。短い会話の中にも先生の人柄がしのばれたものでした。先生との約束を果たすことができなくなりましたが、先生の

思いは生徒にしっかりと伝えていきます。

年が明けて1月には、山中36期の橋爪貞雄さんの計報を伝える記事が目にとまりました。橋爪さんには、愛知教育大学長として活躍されていた昭和53年に発行した母校の創立30周年記念誌に、「宇治山田中学校の思い出」と題して、当時の山中学生の気風が偲ばれるような味わい深い特別寄稿をいただきました。

また、2月には、山高2期の宮本徳蔵さんの計報に接しました。当時、創作部長であった宮本さんが校歌制定の中心となり、「戦後の新時代にふさわしい、伊勢で生徒一人ひとりの個性がすぐくと伸びていくような」作詞を、当代一の詩人に依頼するとの気概を持って、草野心平さんにあたられたとのことでした。まさに、新制高校にふさわしい校歌ができあがり、その後今に至るまで、その斬新なメロディーと相まって、多くの同窓生に母校への愛着とともに歌い継がれています。

今はただ、3人のご冥福をお祈りするばかりですが、先輩方の残された功績とともに、100年以上にわたり脈々と受け継がれている、自主自立を核とした「不易の精神」を生徒たちにきちんと伝えていくことが、私たち教職員の使命でもあります。同窓生の皆様方には、今後母校の教育活動にご理解をいただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会委員

本部役員

顧問・校長 中谷 文弘
顧問・教頭 増田 憲一
顧問・事務長 浜田 一夫

会長 池田 六太郎 高19
副会長 奥村 操子 昭20
副会長 山内 斎助 高3
副会長 野田 昌和 高10
副会長 牛場 まり子 高14
副会長 橋本 久俊 高17
理事 鈴木 芳蔵 中35
理事 中西 衛三 中36
理事 谷崎 健治 中48
理事 中沢 純子 昭23
理事 金児 毅 高6
理事 井村 郁子 高11
理事 寺田 直喜 高14
理事 越山 初生 高18
理事 田岡 貞美 高19
理事 古野 潔 高20
理事 中川 正美 高21
理事 南 誠一 高22
理事 安田 千代 高23
理事 中川 卓郎 高24
理事 羽根 一幸 高26
理事 福田 洋子 高27
理事 田ヶ原 博史 高28
理事 岩崎 良文 高29

理事 稲垣 真 高30
理事 鳥羽 真人 高32
理事 上村 正徳 高33
理事 小西 信幸 高36
理事 藤村 喜成 高36
理事 藤原 信一 高37
理事 山下 智史 高41
理事 廣 めぐみ 高44
理事 石川 雄一朗 高45
理事 上之郷 賢二 高25
理事 中村 美代子 高23
理事 奥野 幸良 高30
理事 牧田 平 高21
理事 森岡 義博 高30
理事 小山 澄人 高32
理事 廣山 晶彦 高32
理事 竹内 幸弘 高26
理事 山口 英朗 高28
理事 奥山 元彦 高30
理事 泉 浩之 高30
理事 西根 輝男 高34
理事 中西 泰徳 高36
理事 浅井 裕司 高38
理事 永木 志伸 高38

支部役員

東京支部支部長 大西 章夫 高9
東京支部事務局長 早川 仁也 高10
大阪支部支部長 藤本 芳枝 高14
大阪支部事務局長 鈴木 一暢 高31

名古屋支部

支部長 石丸 典生 中47
事務局長 齋藤 友彦 高31

北勢支部支部長 江崎 隆夫 高13
事務局長 竹内 幹仁 高20

事業報告及び事業計画

平成21年度事業報告

平成21年

7月4日 会計監査
7月7日 正副会長会議
7月10日 役員会
7月24日 総務委員会
7月29日 情報委員会
9月16日 正副会長会議
10月26日 総務委員会
11月4日 松南同窓会総会
11月10日 情報委員会
11月26日 会報委員会
11月29日 大阪支部総会
平成22年
1月8日 情報委員会
1月18日 正副会長会議
2月18日 情報委員会
2月22日 会報委員会

平成22年度事業計画

平成22年

2月26日 会報委員会
3月1日 同窓会入会式
3月17日 会報発送
4月19日 情報委員会
5月31日 総務委員会
6月6日 東京支部総会
6月8日 情報委員会
6月28日 歓迎会
平成22年
7月3日 会計監査
7月5日 正副会長会議
7月9日 役員会
7月27日 総務委員会
7月30日 情報委員会
8月8日 定期総会
11月4日 松南同窓会総会
11月7日 北勢支部総会
平成23年
1月12日 正副会長会議
3月1日 同窓会入会式
3月1日 会報発行

※本会運営のために正副会長会議などが必要に応じて行います。
※支部総会が開催される場合は本部より出席します。

決算及び予算

平成21年度決算

平成22年度予算

収入の部

(単位:円)

項目	本年度決算額	予算額	備考
前期繰越金	1,834,725	1,834,725	
入会金	3,180,000	3,190,000	10,000円×318人
預金利子	63,632	10,000	
雑収入	270,001	500,000	懇親会会費
協力金	2,931,183	5,000,000	会報発行協力金
合計	8,279,541	10,534,725	

収入の部

(単位:円)

項目	前年度決算額	予算額	備考
前期繰越金	1,834,725	515,843	
入会金	3,180,000	3,120,000	10,000円×312人
預金利子	63,632	10,000	
雑収入	270,001	250,000	懇親会会費
協力金	2,931,183	2,300,000	会報発行協力金
合計	8,279,541	7,195,843	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度決算額	予算額	備考
総会費	980,657	1,400,000	パーティ経費・招待者案内状
110周年記念事業費	1,509,640	0	
会報発行費	2,953,650	2,900,000	印刷費、発送費
入会式費	141,090	140,000	記念品代
会議費	201,913	300,000	役員会、委員会食事代等
支部・同期会費	291,170	500,000	支部・同期会助成
クラブ補助費	500,000	500,000	母校クラブへ
通信費	24,690	60,000	
消耗費	2,498	80,000	
旅費	174,380	190,000	各支部総会出席
慶弔費	40,210	70,000	
母校後援事業費	100,000	100,000	
ホール管理費	300,000	300,000	
インターネット管理費	53,350	60,000	通信代、利用料
給与費	480,000	480,000	
予備費	10,000	500,000	支出は会長の専決事項
次期繰越金	515,843	909,899	
合計	8,279,541	8,489,899	

支出の部

(単位:円)

項目	前年度決算額	予算額	備考
総会費	980,657	850,000	パーティ・招待者案内状
110周年記念事業費	1,509,640	0	
会報発行費	2,953,650	2,950,000	
入会式費	141,090	140,000	記念品代
会議費	201,913	300,000	会議時食事代等
支部・同期会費	291,170	500,000	支部・同期会助成
クラブ補助費	500,000	500,000	母校クラブへ
通信費	24,690	40,000	
消耗費	2,498	40,000	宛名シール他
旅費	174,380	190,000	各支部総会出席
慶弔費	40,210	70,000	
母校後援事業費	100,000	100,000	
ホール管理費	300,000	300,000	プラチナホール管理費
インターネット管理費	53,350	60,000	通信代、利用料
給与費	480,000	480,000	
予備費	10,000	500,000	支出は会長の専決事項
次期繰越金	515,843	175,843	
合計	8,279,541	7,195,843	

財産目録

1. 第三銀行定期預金	10,000,000
2. 百五銀行定期預金	6,000,000
3. 百五銀行普通預金(インターネット管理用)	1
4. 百五銀行普通預金(協力金用)	0
5. 郵便局普通貯金	515,842
6. 振替口座 00870-1-23118	0
7. 振替口座 00800-2-16973	0
8. 現金	0
合計	16,515,843

(内別途積立金)	16,000,000)
(次期繰越金)	515,843)

百周年別途積立金	
百五銀行定期預金	3,700,000

監査報告

平成21年度(H21.7.1~H22.6.30)の会計について監査を実施したところ、適正に処理されていることを認めます。

平成22年7月3日

会計監査 中村美代子(高23期)
奥野幸良(高30期)

事務局だより

22年度総会におきまして、山内齋助副会長(高3)、岩崎良文理事(高29)、上村正徳理事(高33)、小西信幸(高36)の方々が新役員として承認されました。

22年度の人事異動により、工藤好洋事務長が勇退され、澤田真明先生(英語、高35)が松阪商業高校へ転出されました。そして浜田一夫事務長、山口英郎先生(英語、高28)がそれぞれ着任されました。

23年度の異動により、増田憲一教頭が勇退され、泉浩之先生(英語、高30)が昂学園高校へ転出されました。そして、中山隆之先生が教頭として、川北文彦先生(社会、高30)が着任されました。

また、同窓会活動にご尽力をいただきました副会長長藤原敏夫様(中49)、間宮忠夫様(中35)、久保田康耶様(中47)、宮本徳蔵様(高2)、東倉康二様(高5)がご逝去されました。哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

支部だより

東京支部総会 盛会裏に終わる

事務局長 早川 仁也

東京支部の総会・懇親会は、このところ6月の第一日曜日(平成22年度は6日)に、東京プリンスホテルにて開催されることになっています。

が、今回も180名を超える同窓生・御来賓が集い、賑やかで楽しいひとときを共にしました。

今回のゲストスピーカーは、小坂憲司さん（10期・横浜ほうゆう病院長）で、「認知症の正しい理解」と題して、先生の発見された「レビ小体型認知症」を中心に、スライドを使って興味深く講演されました。80歳を超える山中・山女の大先輩から、孫に当たる20代の若者まで、山高の長い歴史を物語る縮図のような会場ですから、ご自分のこととして、また介護する側として、共に時宜を得た演題であり、熱心に聞き入っている姿が印象的でした。

つづいて定時総会に入り、大西支部長（9期）の挨拶に始まり、伊勢から上京された池田同窓会会長、中谷学校長、今回初当選の鈴木伊勢市長と続き、最後に、早川事務局長（10期）が議長になって事業報告などの報告と審議がありました。いづれも満場一致で承認されました。開会が正午でここまで約1時間少々、裏方の努力で前よりは早くなったのですが、それでも富内雄二さん（山中47期）の若々しいご発生により、ビールで乾杯となると「やれやれ」とホッとするのが酒好きならずとも大方の人情というものです。

ここで、会場が騒がしくなる前に、中村稔・山商東京支部長と岩本愛吉・伊勢高関東支部会長に挨拶をお願いするのが、これまた主催者側に苦心のいるところです。逆の立場で、いやな思いをした大西支部長の厳しい

注意事項でもあります。

なお、新任の藤本芳枝（14期）大阪支部長をはじめ、各支部長さんにもご挨拶をいただきたいところですが、懇親会でのアトラクションや旧友との談笑時間との兼ね合いで、割愛させていただきます。

さて、懇親会での花形は、小林秀雄さん（山中50期）と猪野純雄さん（9期）のピアノ、山崎博史さん（5期）のエレキギターですが、歌の方はシャンソンであれ演歌であれ多士済々で、マイクを独占しないようにお願いしているような次第です。会費が少々高い（？）だけあって、会場が余興に適しているということもあるようです。

最後は、山中・山女・山高の三校の校歌斉唱となりますが、最近では山女の先輩方の参加が減ってきて気がかりです。山高の歴史を物語る恒例であり、数ある全国の同窓会でも珍しいシメだと思えますので、これからは長く続いていくことを願わずにはおれません。

今回は本年6月12日（日）東京プリンスホテル「プロビデンスホール」（港区芝公園・最寄駅都営三田線「御正門」下車）において開催いたします。連絡先 東京支部事務局 事務局長 早川仁也まで

また、春、秋の年2回「山高歩こう会」（世話役代表 富内雄二さん・山中47期）を開催、都内等名所旧跡を散策しており若い世代の参加も増えてきております。お気軽にご参加ください。



於山本有三記念館・深大寺

名古屋支部報告

事務局長 齋藤 友彦

名古屋支部の総会は隔年開催で今年はその年となっております。

第16回山高同窓会名古屋支部の総会と懇親会を次のように開催を予定しております。

日時 平成23年4月17日（日）
午前10時 受付開始
午前11時 総会開始
その後、懇親会

場所 名古屋国際ホテル

（☎052・961・3111）

往復ハガキによる開催日時の連絡と、出欠の確認をさせて頂いております。

また、案内状の有無にかかわらず、

お誘い合せご参加ください。県内、県外遠方よりのご参加も大歓迎です。お待ちしております。

この会が会員各位のご理解を頂けるように、ご支援・ご指導を頂き、ますます隆盛し皆様に喜ばれる会にしていきたいと思っております。今後共ご協力をよろしくお願い致します。

現在、定期的に会合をもち、第16回総会の準備に事務局一同努力をしている次第です。

※愛知県・岐阜県在住の山高卒業生でお時間のある方は、是非事務局のお手伝いをお願いしたいので、事務局まで連絡をお待ちしております。

連絡先 名古屋支部事務局長 齋藤友彦まで

北勢支部総会にぎやかに開催

事務局長 江崎 隆夫

第10回北勢支部総会ならびに懇親会を平成22年11月7日（日）に四日市シテイホテルで開催いたしました。同窓会会長の池田六太郎氏をはじめ、中谷学校長、同窓会本部、東京、大阪、名古屋の各支部より多くの役員の皆様の参加を得て、90余名の参加を頂き、楽しく盛大に行われました。

総会に先立ち、公演としてソプラノの廣めぐみさん（山高44期）、ピアノ伴奏を長田真紀子さん（山高28期）と合唱団ブラチナ2000の方達の友情出演も有り素晴らしい歌声に全員魅了されました。

懇親会では20期卒業のお嬢様で演

歌手の中西里絵さんの出演も頂き又フラダンスもあり大変盛り上がりしました。これも全て出演いただいた方々のご協力により出来たことでした。改めて紙面を借り御礼申し上げます。

今回総会で役員の交代が審議なされ次の方達が任命されました。

支部長 江崎 隆夫 (13期)
副支部長 山本 敏 (21期)
事務局長 竹内 幹仁 (20期)
顧問 山崎 義文 (48期)
相談役 大西 和雄 (10期)

又、前副支部長の織田啓子さんは幹事として今後お願いする事になつていきます。

同窓会の趣旨は、「会員相互の親睦と母校への支援」です。開催時だけでなく、日々にチャンスあるたびに同窓会の趣旨をご理解いただいて、参加者の増えるよう努力したいと思っています。

今後とも皆様にご支援とご協力をいただいて会の発展に努力したいと思っています。

「わいわい、ガヤガヤ」と仲良く楽しく運営している北勢支部です。今後とも宜しくお願い致します。

山高同窓会北勢支部

支部長 江崎隆夫

大阪支部報告

事務局長 富永 武司

第十五回大阪支部総会は平成二十一年十一月に開催。その報告書を本部に提出し昨年の会報誌に掲載の予定でしたが、何らかの行き違いで未

掲載となりました。報告書として提出するには時間の経過と相俟って多少間延びした感を否めないが大切な役員改選の議事でもあり再度報告することになりました。

一昨年総会会場は大阪城近くの「KKRホテル大阪」。午前十一時三十分開会、池田六太郎同窓会長、中谷文弘学校長、各支部長はじめ近隣同窓会役員等来賓多数を迎えて盛大に開かれた。会員参加者数は約五十名。総会の催しとして十日えびすで有名な西宮神社前権宮司の吉井貞俊氏(山高1期)が「伊勢を歩く」と題して講演を行った。氏は自著「伊勢参宮本街道を歩く」をもとに、その昔古人が歩いたであろう上方から伊勢参宮街道の旅路に思いを馳せ、上方と伊勢文化交流の歴史を自らの体験を重ねあわせロマンチックにわかりやすく語った。又、今回美しく豪華な「生花」が北村貴美子さん(山女18年)から、山中・山女・山高の三校章入りの「山高同窓会横断幕」が寺田萬亀子さん(山女19年・故人)からそれぞれご寄贈頂き総会に花を添えることができました。ありがとうございました。

なお、支部総会役員改選で岩本忠支部長(山高9期)が退任、後任には藤本芳枝氏(山高14期)が選出され支部長就任。同時に事務局長も鈴木一暢氏(山高9期)から富永武司氏(山高14期)へとバトンタッチ。新しい藤本キャビネット誕生を機に、今後ともなお一層の親睦交流を計り、主幹同窓会として大阪三重県人会等諸機関との連絡を密に会の発

展に少しでも寄与したいと願う次第です。

現在、今秋十一月二十日大阪支部総会開催(於KKRホテル大阪)に向けて準備を進めていますのでご協力の程よろしく願います。

連絡先 〒565・0872

大阪府吹田市上田7番D・806

富永 武司



松南会

湊 キミ

同窓会のみなさまには御元気で活躍のことと存じます。

さて、昨四日松南会総会にはお忙しい中を副会長橋本様、教頭増田様の御臨席をいただきありがとうございます。又その節は、同窓会よりお祝金も頂戴しありがとうございます。高齢者の集団ですがことしも

恙なく総会を終え同窓会の御協力に感謝しております。

皆様の御健勝を祈っております。



通信欄

戦争に消された大震災・東南海地震

山中47 富内 雄二

戦争末期、国家による報道管制が敷かれていたため、殆どの国民が知らなかった大震災、東南海地震(一九年一月七日、マグニチュード七・九)と三河地震(二〇年一月二三日、マグニチュード六・八)の二つがあった。文献によると、両方で死者三三〇〇人、熊野灘の大津波は六メートル、流失家屋三〇〇〇戸という大震災でした。近くのお墓でも墓石全部横倒し。四〇年後、防災意識の高まりと共に専門家の文書で知らされました。私の体験ではすごい揺れ(一

時半頃)で、工場の天井から物と埃が落ちてきて目の前が真白になり、逃げようにも腰が浮いて歩けず、座り込みました。二三分後落ち着いたので工場の外に出ましたら、隣にあった木造の紡績工場がベシヤンコに壊れていました。そこで働いていた女子挺身隊のメンバー五十六名が亡くなったとか。立ち話を耳にしました。翌日、近鉄の長良川鉄橋付近の盛土が崩壊し、不通になっているとの事で、大谷工場長に引率されて我々もスコップ・モッコを担いで応援にかけつけたこともありました(二〇日間ぐらい不通)。この地震で名古屋近郊のデルタ地帯の工場(航空機)は機械の土台が狂い、操業できない日が一ヶ月ぐらい続いた様でした。又、長野県諏訪湖周辺にも影響が強く現れ、大被害があったようですが、関連性は隠されていて、戦後四〇年してから解明されたとか。

不利な情報ゆえ始どの国民は戦後まで全然知らされてなかった。アメリカはハワイの観測所で完全にキャッチ、被害の大きさを承知していたようである。

戦争末期、食料、物資が不足し家は焼かれ、生活に困窮していても、まだまだ国家のために犠牲にならなければという忠君・愛国の精神が続けられ、私も神風特別攻撃隊になっていたかもしれない(その当時、飛べる飛行機はなく、ガソリンもなく、物理的には無理)。正直な所、戦争に勝てるのかなあと、疑いは持っていた。夜、桑名から名古屋の航空機

工場が真赤に燃えているのを見たり、大地震で機械が動かず生産が止まっている現実を見ると、勝てそうにはないなあとは思っていたが、戦前教育は日本は神国であり最後は神様が助けてくれると思ひ込んでいた。昔々元寇の役で二度も元の国が九州まで攻めてきたが上陸できなかった。日清・日露戦争にも勝利を得ていたからである。終戦後、日本の秘密文書が開示・発表されるにつれて、教育の怖さを思い知らされた。

あらゆる情報が公開され、それを精査することにより、日米戦力の差の大きさを再確認せざるを得なかった。ニュージージラランドに旅した折、飛行機でガダルカナル島を下に見た時、よくこんな遠い所まで小さな船で二〇日間もかけてよく攻めてきたもんだなあ(改めて日本人の精神力の強さに感心!)と。今は、テレビ・パソコン・新聞・雑誌で情報が氾濫し、情報過多の時代、各自が大いに勉強し、自分に必要な情報を見極める能力を養うことが肝要である。自分なりのポリシー・哲学を持たないと浮ついた不満足な人生になってしまうのでないでしょうか。

山女23期みなつき会

中澤 純子

山中昭和二十三年卒業の「みなつき会」の皆様お元気でお過ごしでしょうか?誌上をお借りしてお伺い申し上げます。

長い年月皆様と共に育てて参りま



した私達同窓会も花も実もある内にと八十才を迎えた平成二十二年六月でピリオドを打ちました。「みなつき会」の名にふさわしい毎年一回六月に皆様とのデートの場を続けて参りました。一目会うなり即女学生時代にタイムスリップの出来る事のすばらしさは、同窓会の持つ不思議な魔力とでも申しましょうか。

私達はあの大戦争に巻き込まれた青春時代で学友達と苦楽を共にしてきたあの若き日々。でも今となればいい思い出として話題になります。

山高会員のお若い方々に、何時かは過去の思い出が唯一の楽しみとなる年令を迎えます。その時の為にも沢山の思い出を作り置き下さる事を

念じ、山高会報の益々の御発展と皆様の御健康をお祈り申し上げます。有難うございました。

第17期生 事業報告

私ども17期生の同窓会を、昨年11月7日(日)・8日(月)と一泊二日の日程で静岡県浜松市の館山寺温泉にて開催致しました。三重県方面からはマイクロバスに乗り合わせての出席で、名古屋以東は各自、現地集合で総勢28名の出席でした。

一次会では、ゲーム及びカラオケで盛り上がり、二次会では全員一室に集合してワイワイ、ガヤガヤとさながら修学旅行のようで、楽しいひと時を過ごしました。

そして翌日は浜名湖周辺をドライブして帰路につきました。



高 W! ife 2010 ~ 2011

● 体育祭
6月1日



● クラスマッチ
7月13日～14日



● 修学旅行
10月21日～23日
沖縄





● 山高祭
9月9日～10日

● 文化部発表会 3月19日



● 井村郁子氏 講演会
「ミニ姫路城と私
―男のロマンとつきあった19年―」

平成22年度同窓会総会

8月8日(日)

● 懇親会



オーストラリア語学研修

平成23年3月19日～31日



アボリジニアートづくり

一、二年生16名がオーストラリアのシドニー郊外のカンドルタウン地区においての語学研修に飛び立ちました。11日間の滞在期間に、語学学習はもちろんのこと、地元の高校生との文化交流を体験しました。

異国の地で、異文化に触れることは、最初こそは戸惑いを隠すことができませんでしたが、日数を重ねるうちに徐々に打ち解け、英語で冗談なども交えながら会話するまでになりました。貴重な経験をすることができました。



地元新聞社の取材



Old Bar Beach にて

山高プラチナゴルフ会発足

19期 牛場 宜夫

同窓会は、一昨年、母校山高の創立110周年を皆さま方と共に祝いしました。その時、これを機会に多くのゴルフ好きが年に一度、一堂に会しゴルフを通じて親睦を深めてはとのお話をきっかけに、池田同窓会長を交え発起人数名が準備会を重ね、各期のゴルフ好きの方々に集まっていただき幹事会を開催し、各期の幹事さんより声かけをしていただき、皆様のご協力のもと昨年8月16日(月)に伊勢カントリークラブにてゴルフコンペを開催することができました。

昨年の夏は、異常気象と言われ、厳しい暑さが続いておりましたが、当日も猛暑の中、164名の方が集まっていたいただき熱戦を繰り広げました。

各期のゴルフ好きの方々が一堂に会しプレーするのは、山高創立100周年以来のため暑さを忘れ、また、組合せも同期の人でプレーすることができましたので、終始、和気あいあいとゴルフを楽しみ、親睦を深めることができました。熱戦を制したのは、28期の高山賢市氏がグロス94、ネット65・2のスコアで、栄えある優勝をされました。

表彰式に先立ち、今回のようなゴルフ会を継続する旨の賛同を得て、

会長に8期の堀崎 萱二氏、幹事長に20期の古野潔氏を選出し、副幹事長2名、幹事4名、顧問2名を指名し、会の名称を「山高プラチナゴルフ会」と制定し、今後とも継続して開催することとなりました。

つきましては、第2回ゴルフコンペを下記要領で開催しますので、皆さま奮ってご参加くださいますようご案内いたします。お申し込みは、各期の幹事さん、または、事務局までFAX・Eメール等にてご連絡ください。

開催日時 平成23年4月30日(土) 午前8時スタート予定

場所 伊勢カントリークラブ 三重県度会郡玉城町世古1362

参加費 3,000円

(プレー費は特別料金・各自負担) 申込締切 平成23年4月20日(水)必着

申込先 フルノケミテック(株) 気付「山高プラチナゴルフ会」事務局宛 FAX 0596・25・2283

E-mail kyoshi-f@furno-chemtec.co.jp 申込内容 卒業期・名前・生年月日・携帯

電話番号・自宅電話番号・FAX番号・住所



大学入試状況

2011年度入試の状況について

(平成23年3月卒業生の入試状況から)

進路指導部

本年度入試を振り返ってみますと、国公立大学入試に47名(現役40名)が合格しました。合格者数は10年度と同数となり、私立大学入試では、関関同立に計20名(現役13名)が合格しました。

本校の受験生に関しましては、近年続く不況の影響もあり、三重大学、三重県立看護大学への受験者がともに大幅に増加しました。特にこのところ続いている資格志向を背景とした看護人気と、入試方法を変更したことにより三重県立看護大学が倍率、ボーダーともに難化したことが特筆すべき点です。また、この学年では工学部希望者が例年よりも少なく、薬学部希望者が多かったことも特徴的です。しかしながら一方ではやはり、「学費のこともあり、国公立大に進学したい」「家から通える学校に進学したい」といった「安・近」の傾向が昨年よりも一段と強まり、県内の大学、短期大学、医療系専門学校への進学者が増加しています。また、国公立後期試験まで粘り強く取り組み、合格を勝ち取った人が8名いることもこの学年の特徴です。

平成22年3月卒業生入試状況

国立大学		私立大学		私立大学	
富山	6	神奈川	3	京都産業	10
愛知教育	1	神奈川工科	1	京都女子	2
三重	15	関東学院	2	京都精華	1
和歌山	2	横浜商科	1	京都橘	5
鳥取	1	帝京科学	1	同志社	6
鳥根	2	金沢工業	8	佛教	4
計	27	岐阜医療科学	1	立命館	6
公立大学		岐阜聖徳学園	3	龍谷	10
高崎経済	1	中部学院	2	大阪学院	2
富山県立	1	愛知	8	大阪芸術	1
石川県立	1	愛知学院	13	大阪国際	2
福井県立	1	愛知工業	4	大阪商業	4
都留文科	2	愛知淑徳	5	大阪薬科	2
静岡文化芸術	2	愛知東邦	1	関西	9
愛知県立	1	椋山女学園	1	関西外国語	3
三重県立看護	4	星城	1	近畿	14
滋賀県立	1	大同	8	摂南	1
兵庫県立	1	中京	11	大手前	1
県立広島	1	中部	18	関西学院	4
島根県立	1	東海学園	1	関西国際	1
高知工科	2	名古屋音楽	2	甲子園	1
高知県立(高知女子)	1	名古屋外国語	4	甲南	1
計	20	名古屋学院	2	神戸学院	1
私立大学		名古屋学芸	3	神戸親和女子	1
東北芸術工科	1	名古屋経済	3	姫路独協	1
国立音楽	1	名古屋芸術	4	武庫川女子	1
国土館	1	名古屋商科	2	天理	1
駒澤	1	名古屋文理	1	奈良	3
専修	1	南山	3	岡山理科	4
中央	1	日本福祉	11	計	353
帝京	2	藤田保健衛生	2		
東海	3	名城	17		
東京理科	3	皇學館	62		
日本	2	鈴鹿医療科学	17		
日本体育	1	大谷	1		
法政	1	京都外国語	3		
立正	1	京都学園	2		

平成23年3月卒業生入試状況

国立大学		私立大学		私立大学	
秋田	1	東京理科	1	名城	19
富山	1	日本	5	人間環境	1
信州	1	法政	1	皇學館	63
愛知教育	1	明治	1	鈴鹿医療科学	29
名古屋工業	1	神奈川	1	四日市看護医療	2
三重	19	神奈川工科	2	びわこ学院	1
滋賀	1	関東学院	2	大谷	1
京都教育	1	帝京科学	1	京都外国語	8
奈良教育	1	北陸	1	京都産業	15
島根	2	金沢工業	2	京都女子	2
山口	1	静岡理工科	2	京都精華	1
計	30	岐阜医療科学	1	京都造形芸術	4
公立大学		岐阜経済	1	京都橘	1
高崎経済	2	岐阜聖徳学園	1	同志社女子	1
山梨県立	1	愛知	12	佛教	9
都留文科	2	愛知学院	4	立命館	13
静岡文化芸術	1	愛知工科	1	龍谷	11
愛知県立	3	愛知工業	10	追手門学院	1
三重県立看護	4	愛知淑徳	7	大阪学院	3
滋賀県立	1	金城学院	4	大阪芸術	1
兵庫県立	2	椋山女学園	2	大阪商業	1
島根県立	1	星城	1	東大阪	1
計	17	大同	9	関西	7
私立大学		中京	27	関西外国語	9
城西国際	1	中部	17	近畿	8
杏林	1	東海学園	3	摂南	8
国立音楽	1	名古屋音楽	1	桃山学院	5
国土館	1	名古屋外国語	13	近大姫路	1
駒澤	2	名古屋学院	6	甲南女子	1
成城	1	名古屋学芸	5	神戸女子	1
創価	5	名古屋芸術	2	兵庫医療	3
拓殖	1	名古屋商科	4	武庫川女子	1
中央	1	名古屋女子	1	岡山理科	2
帝京	5	南山	9	九州保健福祉	1
東海	2	日本赤十字豊田	3	計	429
東京女子	1	日本福祉	2		
東京農業	5	藤田保健衛生	2		

献本リスト

献本者名	書名
真弓多喜代様（山高7期）	● わたしの宝もの
坂本 幸子様（山高7期）	● 緩く、木々の下を流れ来て
東村 篤様（山高19期）	● 思わず話したくなる国ベトナム
松沢 桃様（山高19期）	● 羈旅 ● 葦 第34号

同窓会では、将来の同窓会文庫開設のために、卒業生の方々の出版されました書物等を寄贈していただきますよう、機会あるごとをお願いしております。今後ともよろしく願いいたします。

ホームページを活用いただいていますか？ 是非、ご覧下さい。http://www.yamako.org

同窓会のホームページは、100周年記念事業の一環として、同窓会会員同士の交流の場として、平成10年に立ち上げられました。その後、より親しみやすく、活用しやすいサイトになるよう、平成14年、平成20年にリニューアルを行いました。また、その運営を担当している情報委員会の活動も、当初は1ヶ月に一度、現在は2ヶ月に一度、多忙な中、委員の皆さんに集まっていたき、委員会を開催しています。委員として、同窓会のホームページの運営に興味のある方は、是非、事務局までご連絡ください。

ホームページは、会員の皆さんよりの情報提供がなくては成り立ちません。同窓会活動の案内、同窓生の活動の案内（展示会、コンサートの開催、著書の案内など）、同期会開催の連絡、開催後の感想や会員の近況（個人の活動を含む）などを、同窓会事務局（e-mail:info@yamako.org）までご連絡をお願いします。

このサイトを通じて、会員の皆さんの情報を広く提供し、よりよい交流を願っております。なお、卒業期全体の同期会を開催される場合は、各期会員のタックシール作製をサポートしてお

ります。各期代表を通じて本部事務局にご連絡ください。（ホームページから申込書をプリントできます。）

また、現在、同窓会ホームページ上に協賛企業の掲載を行っております。企業を経営（勤務）している方、お店を経営されている会員の皆様が、会社やお店のご紹介、求人情報、同窓会員だけの特典などさまざまな情報を発信していただく場としてご利用いただいております。まだ、ご利用いただいていない皆様には是非この機会にご検討ください。

年間掲載料は、2万円です。詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.yamako.org/kigyopage/boshu.html>

ご存知の方も多いかと思いますが、ホームページから同窓会協力金・協賛企業協力金のカード決済ができるようになっています。金融機関に出かけなくても協力金の支払いができて便利です。今後ともご協力、ご利用をお願いします。

<http://www.yamako.org/card/index.html>



平成22年度同窓会総会&平成23年度同窓会総会のお知らせ

平成22年8月8日(日)、伊勢観光文化会館において同窓会総会が開催されました。総会に先立って恒例の記念講演が井村郁子さん(山高11期)を講師として行われました。数多くマスコミにも取り上げられた「ミニ姫路城」製作に関わるエピソードなどが放映されたテレビ番組や質問タイムなどを交えながらの優しさあふれる語り口調でした。私達が知ることでもできなかった、製作をするにあたっての多くの苦労などにも強い夫婦の絆を感じることでできました。

総会では池田六太郎会長(山高19期)の挨拶に始まり、新役員の承認など議事は全ての議案が滞りなく承認され、総会は終了しました。

懇親会においては、小山喜雄先生の指揮による恒例のプラチナ合唱団の歌、参加者最高齢の中西衛三氏(山中36期)による乾杯の御発声により懇談となりました。

22年度
総会の様子



最後に山中、山女、山高それぞれの校歌を声高らかに歌い閉会となりました。



平成23年度同窓会総会のお知らせ

日 時 平成23年8月14日(日) AM10:00 受付
会 場 伊勢観光文化会館 (近鉄宇治山田駅前)
記念講演 10:30 ~ 11:30
演 題 「伝えたい罌堂の心
- 尾崎罌堂の生涯とその功績 -」
講 師 土 井 孝 子 (山高12期)

講師略歴

昭和35年 宇治山田高校卒業(山高12期)
昭和37年 池坊学園短期大学卒業
現 在 華道教授
NPO法人罌堂香風名誉顧問

総 会 11:35 ~ 12:00
懇 親 会 12:15 ~ 15:00

※平成23年度の招待期は山高12期・山高61期です。招待期の方々には、今夏に招待ハガキを発送します。招待期以外の皆さんも是非ご参加下さい。(なお、招待期以外の方の懇親会費は3,000円となっております。)

山高文化部発表会のお知らせ

恒例の第11回文化部発表会(第46回音楽発表会)が平成24年3月25日(日)に伊勢市観光文化会館において催されます。合唱、写真など全国レベルの文化部が一堂に会しての発表会です。入場無料ですので是非ともご来場下さい。

展 示 開場 11:30 ~ 終了 14:30
演奏会 開場 11:30 ~ 開演 12:30 ~
参加クラブは次のとおりです。
合唱部・吹奏楽部・放送部・写真部・美術部・書道部・茶道部・華道部・文芸部・漫画研究部・インターアクト部

編集後記

近年暖冬に慣れていた身体に今年冬の厳しさには、本当に閉口しました。温暖な伊勢には珍しく二月に二日も大雪が降り、交通が混乱しました。

また、三月十一日に発生しました三陸沖の大地震に被災され、犠牲になられた多くの人々に対して謹んで哀悼の意を表します。

会員相互の友好と母校とをつなぐ架け橋として、皆様方に喜んでいただく会報作りを目指して活動してまいりました。

今年度の表紙の写真は、去る三月十九日から三十一日まで、生徒達がオーストラリアでの語学研修に参加した時のものです。参加した16名にはとても貴重な体験になったことと思います。

〒516-0062 三重県伊勢市浦口3丁目13-1

宇治山田高等学校同窓会